



男 体

第64号
平成22年7月1日発行

22年度 県連盟年次総会 開催



今年もさる5月16日（日）に宇都宮市とちぎ青少年センターにて平成22年度ボーイスカウト栃木県連盟年次総会が、栃木県副知事、麻生利正氏他多数の来賓をお招きし、各団指導者および県連盟役員が一堂に会した中、宇都宮第18団ボーイスカウト都甲さんの「おきて」唱和により年次総会が開催されました。

開会式では県連盟年次表彰（次項に優良スカウトのみ記載）があり、多数のスカウトや指導者に伝達されました。

議事では、21年度事業ならびに会計報告・22年度事業計画・予算が滞りなく承認されました。

連盟長（栃木県知事）が公務によりご出席できませんでしたが、麻生栃木県副知事にご臨席いただいたことは、われわれスカウト関係者にとって大いなる喜びであります。

また21年度事業では念願であった栃木県連盟野営場（愛称：Camp. Cat. Crow なづけてC.C.C.）の取得報告がなされ、今後特に自隊のキャンプ場が無い団にとっては、いつでも利用可能なキャンプ場として再スタートいたしました、是非、ご利用のない団は一度利用してみたいはいかがでしょうか？

【注】Camp. Cat. Crowの由来は地名的那須烏山市中山字猫入から「ネコ」と「からす」を取ったものです。

「ネコとからすが力を合わせ～」て、言うじゃありませんか！？

目 次	
優良スカウト表彰 22年度行事予定	2
フェスタMY宇都宮 どろんこ・・・ 宇都宮18団	3
グローバル委員会から	4
台湾交流 足利1団	5
ザリガニ・・・ 塩谷8団 日本ジャンボリー情報1	6
ウッドバッチ研修所 CS27期 日本ジャンボリー情報2	7
事務局の動き	8

優良スカウト表彰

第64号

県連年次総会に於いて、
優良スカウト12名が表彰されました。

C S 大山笑美子 宇都宮 15 団
後藤 一廣 宇都宮 15 団
岡本 啓太 宇都宮 15 団
田中 友理 宇都宮 15 団
清島 崇宏 宇都宮 15 団
木村 圭吾 今 市 2 団
木島 花菜 栃 木 1 団
塚田 翔太 栃 木 1 団
野原 友治 栃 木 1 団
増山 剛旦 栃 木 1 団
B S 稲葉 雄紀 栃 木 1 団
高久 魁 栃 木 1 団

優良スカウト章は日頃の活動に精励し、
その行為が他の模範となる者に送られます。



Page 2

22年度行事予定

年次総会におきまして、今年度の
県連事業が各委員会ごとに発表され
ましたが、それに基き、日程等が右
のように決まりました。

指導者手帳のサイズになっていま
すので、外枠の線で切り取り、左の
○の部分にパンチで穴を開けて、シ
ステム手帳に綴じてお使い下さい。

切り取って、手帳にはさんでお使い下さい



平成22年度事業予定

月	日	諸行事	日	諸会議
4	17-18	県定形外訓練	3	臨時理事会 (各種運営委員長会議)
	17-18	第10期植樹活動 C.C.C		会計監査
	25-26	足尾・春の植樹デー		
5	1-4	WB研修所CS栃木27期 (栃木県連盟野営場)	16	理事会
			16	栃木県連盟22年度年次総会
			29	全国理事長会議
			29-30	日本連盟22年度全国大会
6		県民の日協賛事業	5	各種運営委員会合同会議
7	4-5	研究会(開発・グローバル)	3	理事会 富士章面接 コミッショナー合同会議 関東ブロック会議
				各種運営委員長会議
8	2-8 22	第15回日本ジャンボリー 東部地区ボーイスカウト講習会		
9	20	スカウトの日	4	理事会
	18-21	WB研修所VS栃木7期 (栃木県連盟野営場)		コミッショナー合同会議
10	3	北部地区ボーイスカウト講習会	2	各種運営委員長会議
	17	第41回栃木県カブラリー (南部地区) (とちぎ教育の日協賛)		富士章面接
11	7	西部地区ボーイスカウト講習会	6	理事会
	13	とちぎ教育の日		コミッショナー合同会議
			27-28	全国事務局長会議
12	12	南部地区ボーイスカウト講習会	4	各種運営委員長会議 関東ブロック会議
1	8-9	団役員研修会(組織)	8	理事会 コミッショナー合同会議
2	13	東部地区ボーイスカウト講習会	5	各種運営委員長会議 富士章面接 名誉会議
3		県TT研究集会(開発)	5	理事会 関東ブロック会議 名誉会議 県連盟登録審査 コミッショナー合同会議

フェスタマイ宇都宮

・・・東部地区が宇都宮市民の日・記念イベント参加・・・

日時:2010年5月23日(日)10時～(雨天のため12時撤収)

場所:宇都宮城址公園

毎年、『宇都宮BS・GS連絡協議会』として参加し、ボーイスカウト活動のPRの場となっています。

200を超える団体や企業がこのイベントに参加し、ステージではダンスなど、会場内には電気自動車の展示・企業のPRブース・参加団体の飲食模擬店などが並び、一角にボーイスカウトのコーナーが設けられました。

丸太で櫓(やぐら)を組みネットを張った大型の工作物を提供しましたが、当日は、正午より雨が降り、わずか2時間で撤収せざるを得ませんでした。

櫓(やぐら)間の丸太を渡し、ネットを越えたりとよほど楽しかったのか、同じ小学生が2時間ず～っと繰り返していたのが印象的でした。

東部地区組織委員長高嶋 孝夫



「どろんこ田んぼの田植え」宇都宮第18団

-那須烏山「どろんこ田んぼの田植え」に参加して-

平成22年5月23日(日)午前9時、曇り空。宇都宮18団のビーバースカウト&おまけ19名、保護者14名、指導者3名。総勢36名で、昨年に引き続き那須烏山・七合で行われた『どろんこ田んぼの田植え』に参加しました。

「田植え」。何千年も前からくり返し、くり返しこの国で行われてきた作業。食卓にあってあたりまえのお米。それが食卓に上るまでの大事な工程に、ほんの一時(いつとき)ではあるが携わることができる喜び。しかも、素手で植える『手植え』とくれば、ビーバースカウト達の血が騒がないはずはないだろう。予報は昼前から雨。いつもの隊活動では“あいにく”の天気も肌寒さも、農作業をするには最適(?)な日ではありました。

まず、地元の農家の方から説明を受けます。稲の株から3本ずつ手にとること。なぜ、3本なのか科学的根拠もあるらしい。奥の深さに驚きます。(興味のある方は調べてみよう!)感動で早く植えてみたい気になる。泥の中から漂う未知なる生物の気配に緊張しつつ、不安と期待感でいっぱいの子の横顔。

そして、いよいよ泥の中へ!素足に浸み始めるひんやりとした感触。得体の知れない生き物の動きを足に感じ、奇声を上げるビーバー達。恐る恐る ゆっくりと、泥の中を苗を植える場所まで移動します。

「田植え、開始!」の合図に横一列になり、腰を曲げ、ただひたすらに手を動かします。一步後退し、ひたすらに苗を植える。めいめいの手で彩られた苗の緑が、濃茶の泥のキャンバスに映え、目に美しく映えます。まるで一枚の印象派の絵のように。今はまだ華奢に見えるこの苗たちも、半年の後には、黄金色の穂となることを想像してみる。それは、ビーバースカウト一人ひとりの成長にも重なります。「苗(仲間)を増やし、たくましく生き抜く力を」と。

田植えの後は、隣の田んぼに放たれたウナギとナマズの掴みどりです!! まってましたとばかりに、ビーバースカウトの目が一段と輝きを増す。全身泥まみれで右往左往する勇姿は壮快そのもの! 続く昼食は、古代米の入ったおにぎり・豚汁・浅漬け・きんぴらのごちそう! 誰もが知っている味のはずなのに、なぜだろう? あまりにも美味し過ぎます。

帰宅後、雨が降っては 風が吹いては、あの七合の田を思い出す。たった一株の苗のおかげで、こんな風に空気を感じ、空を観る生活になったのです。「今年の夏、東日本はやませによる冷害が懸念される」との気象庁の予報。「たくましく育て欲しい」。心配ばかりかける子が、七合の里にふえたようです。

そんなうれしい変化を与えてくれた『手植え体験』。この誌面をお借りして、地元の方々へ心からの御礼を申し上げます。

秋の収穫祭が待ち遠しい...

宇都宮18団 ビーバー副長 上野台利枝



グローバル委員会から



世界中のいろいろな国のスカウトを紹介します。

「NAZDAR!」(ナスダール)

皆さん、チェコから来たルカーシュです。私は約半年前、来日して、宇都宮大学に留学生として来ました。東部地区スカウトラリー以来、宇都宮第15団の色々なイベントに参加しました。その他に、第1団と第18団とも交流をしました。

特に、この体験、また私の団の活動について書きたいと思います。

処で、「NAZDAR」はチェコのスカウトの挨拶です。

私が参加したイベントで見たことは、日本のボーイスカウトと私の制服の色の違いです。私はシースカウト(海洋スカウト)だからです。シースカウトは国際的な用語で、チェコは海がないのですが、チェコで普段に使われている用語を訳すと「水上スカウト」と呼ばれます。ですから、制服の色は紺色です。水上スカウトとして、制服だけではなく、活動も違います。普段のスカウトの活動の他、カヌーやボートなどを使って水上の活動もしています。写真を載せておきますので見てください。この写真は毎年、二週間の夏のキャンプで撮りました。

日本で参加したイベントの中に特別なイベントも通常訓練もあります。特別なイベントは国によって違うから、文化の視点から誠に面白く、チェコと日本の連盟の比較の視点から通常訓練はより大切です。今、特に二つの違いを詳細に論じます。

一つは、通常訓練の活動の内容です。日本の場合には、ボーイスカウトが自分たちの訓練をしたり、カブやビーバーにとっての活動を計画したりなどして、ゲームをあまりしません。私の団の場合には、訓練をしないことではないが、ゲームも大切です。もし可能ならば、普段も水上も訓練をゲームを通じてしてみます。

二つは、キャンプの時に料理を作ることです。各隊や班で全部の料理を作ることの代りに、チェコでは、板前として指定された数人の指導者とローバーは全部の料理を作ります。ですから、青少年は活動にとって時間があります。または、日本の三食に対して、キャンプの時、毎日五回食べます。

私は、活動に参加することができることに感謝したいと思います。特殊な体験ありがとうございます。

Lukáš Kaňka
ルカーシュ・カニカ

チェコ共和国

通称チェコ 中央ヨーロッパの共和制国家。首都はプラハ。

歴史的には中欧の概念ができた時点から中欧の国であった。ソ連の侵攻後、政治的には東欧に分類されてきた。ヨーロッパ共産圏の消滅後、再び中欧または中東欧に分類される。国土は東西に細長い六角形をしており、北はポーランド、東はスロバキア、南はオーストリア、西はドイツと国境を接する。

1993年にチェコスロバキアがチェコとスロバキアに分離し成立した。NATO、EU、OECDの加盟国で、中欧4か国からなるヴィシェグラード・グループの一員でもある。



ルカーシュ君の
プロフィール

Lukas Kanka

(ルカーシュ カニカ) 24歳

チェコ共和国連盟所属

水上スカウト ハブリーチュクーフ ブロクドゥ 第5団「ラツゴバー」

SEA SCOUT HAVLICKUV Brod(ブロードゥ)【街名】
RACKOVE【団名、かもめ】

のリーダーです。

ルカーシュ君の団は、25名ほどの団です。

街の人口は2万人ですが、10団ほど団があり、全体で200名ほどのスカウトがいるそうです。

各団には、団名【愛称名】があります。彼の団は、「かもめ」の団名が付いています。

チェコの連盟ではボーイもガールスカウトも一緒です。6～7歳から10歳までカブスカウト女の子はホテル、11歳から15歳までがボーイスカウト、15歳から26歳までがローバースカウト、女の子はレンジャーと呼ばれています。

彼も15年ほど、スカウト活動を続けてきています。



県グローバル委員長
中臣 正範

台湾交流 足利第1団



台湾（たいわん）：正式名称 中華民国（Republic Of China）

沖縄諸島の南西に位置し、面積は約3万6000km²（九州ほどの大きさ）人口は約2180万人。首都の台北市は約271.8km²（東京23区の約半分）の広さです。



『你好！』（ニーハオ!）：こんにちは！

みなさんもよく聞くことばですよ！発音はむずかしいけど、自然と笑顔で話したくなるあいさつではありませんか？

日華親善交歓～フレンドシップキャンプ～

昭和52年(1977)11月『四海同胞』の心で台湾南部の屏東県にある「明正国民中学校 屏東第1団」と我が足利第1団が結盟を結び33年が経ちます。その間10数回渡る相互の訪問、親善合同キャンプ家庭でのホームステイを通して、初期の目的である「人種 政治 文化を超え、国際愛と国際理解の実践」を行っています。



言葉の通じないスカウト達が片言の英単語や、知っている漢字をノートに書き、全身を使つてのジェスチャーで意を伝えあっている姿を見た時「四海の内皆兄弟也」を実感する時でもあります。



親善キャンプで屏東県立明正中学校正門前にて



(13NJには多くのスカウトが参加)



台湾の食文化も学びます



ホームステイの受入式！



『15NJにも参加します！』

ザリガニと友達になろう！塩谷第8団



ーザリガニと友達になろう！ 6月13日(日) @なかがわ水遊園ー



この時期の活動は雨の可能性高いので屋内、屋外両方使える場所を設定しています。今年はなかがわ水でしょう？最初はおっかなビックリのスカウトも最後はハサミを避けてつかむ遊園におじゃましました。

活動の初めに三人の入隊式を行い新しい仲間を迎えました。(4月に市内の小学1、2年生にチラシを配布、5月に見学、6月入隊のパターンです) 今回のテーマである“ザリガニと友達になろう！”は水族館横の、おもしろ魚館でスタッフの方からザリガニの特徴を実際に触って(つかんで)観察をしながら学びました。ここで問題です、ザリガニの足は何本ことができました。

お勉強のあとは楽しいゲームです。水遊園のマスコットなかつぴー&こなつぴーを探せです。屋外の案内板につけられたマスコットを探すゲームです。想定外の自販機の中にあったマスコットを見つけたグループもあり、観察を勉強した効果があった？と焦りつつ、ほくそ笑む指導者達でした。昼食後は父の日が近いのでお父さんに絵手紙(ハガキ)を書いてみんなで作品発表会を行いました。これは人前で話す、意見を言う練習になればと考え行っています。

おかたいプログラムの後は楽しいゲーム、紙ふうせん割です。元気に走り回ってエネルギー発散！クールダウンに新聞折り畳み乗りを行い、セレモニーで活動の終了です。

薄曇りの一日でしたがテンコ盛りのプログラムを元気に楽しんでくれたスカウトの姿は私達指導者にとって太陽のごとくまぶしい光りに感じられました。感謝

(問題の答えはハサミも含めて10本です)

塩谷8団ビーバー隊 隊長 中島清



第15回日本ジャンボリー 特集1

第15回日本ジャンボリーの会場

朝霧高原に6月13日下見に行ってきました。

そこで聞いた話や見てきたことをちょっとだけお話しします。

懐中電灯は昼間でも持ち歩く

地名のとおり霧がすごいです。

手を前に出した先が見えなくなるような事もある！
という話もあります。

ペグは30cmくらい手で入ってしまう。

牧草を作っている土地です。

栃木県連盟は

ここで野営します！



ウッドバッチ研修所カブスカウト課程栃木第27期



5月1日(土)から4日(火) GW中の3泊4日で栃木県連盟野営場C.C.Cにおいて、WB研修所カブスカウト課程栃木第27期が池上所長のもと19名の参加者(秋田2名/福島2名/埼玉1名)で行われました。

たくさんの新しい仲間と出会いそして多くの事を体験し、新しい事を学ぶ有意義な時間を過ごした4日間だったようです。

以下は参加者の感想です。

5月の晴天の空の下、3泊4日の、WB研修所CS課程栃木第27期に、参加しました。指導者になって日の浅い自分には、付いていけるのか足手まといにならずに出来るのか、心配でした。初日のセッションから、全てが新鮮で、学ぶべき事が多く、各セッションとも、分かりやすくそして楽しく、班のみんなと協力して勉強する事が出来ました。

この四日間のキャンプ生活をとうして、とても貴重な体験をする事が出来ました。今後はこの体験を、スカウト活動に、役立てていきたいと思ひます。池上所長をはじめ、所員及びスタッフの皆さんには、大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。

壬生1団 稲葉秀敏

WB研修所CS課程に参加して

五月の陽光の下、水田に立つ早緑にCSの姿を想い、眩しい光降りそそぐ太陽煌くこの聖地の鳥山CCC賛歌を聞きながら壬生1団5人の副長は、心躍らせ一路鳥山へ向かいました。

導心門を通過した瞬間、一人我に振り返り後戻りできないとの決断をしたものの草原を前にして、これからの4日間に対する不安と期待が交錯したまま初日が終わりました。

5月とは言え朝夕の冷えこみが厳しい鳥山、昨夜は寒さで熟睡できなかったことを告げると、その晩にはペットボトルの即席湯たんぽを作ってくれた心やさしい班員に感謝し、不安を忘れ、至福の一夜を迎えることが出来ました。

また、最初から最後までハードスケジュールのセッションの連続でしたが、分かり易く、丁寧な指導と生活面でのきめ細かな心遣いに、講師や裏方の方々のご苦労と奉仕の姿を目の当たりにして、これぞスカウティングとの思いが脳裏に浮かび、私達がこれから成すべきこと、望まれることの基本の一つと思い至りました。

池上所長を始め所員ならびにスタッフの皆さん、そして27期のリーダーの皆さん、大変お世話になりました。

また楽しい時間を与えて頂き、ありがとうございました。

壬生1団 水島 章

第15回日本ジャンボリー 特集2

第15回日本ジャンボリーの栃木県連盟ホームページを公開します。

<http://www.scout-tochigi.jp/15nj>

第14回のとく同様

現地から携帯で画像つきメールのデータを掲載します。

※各写真は、現地よりメールされてきた写真を掲載しています。

※写真の説明については、現地からのメールをそのまま掲載します。

言い回しの違いや統一した表現が崩れる可能性もありますが、現地中心の『生データ』を掲載することを前提にしておりますので、予めご了承ください。

PCでは見れない！ という方に

第15回日本ジャンボリーの栃木県連盟ホームページ携帯版も公開します。

携帯版HPのURLは <http://www.scout-tochigi.jp/15nj/i/index.cgi>

または・・・右記のQRコードよりアクセスください。

日本ボーイスカウト栃木県連盟
Tochigi Council Scout Association of Japan

15th NIPPON JAMBOREE

[ようこそ15回 栃木県連盟サイトへ](#)

第15回日本ジャンボリーは群馬県(群馬県東吾妻市低山地区)で行われ、栃木県のボーイスカウト・ガールスカウトの「指導者」が参加します。日本ジャンボリーは、全国で開催された後、4年に一度行われる国内で最も大きな国際キャンプ大会です。2010年5月1日から8日(祝日)まで開催(予定)されています。

【主催】
栃木県連盟、現地よりサポートされたボランティア等が主催しています。
※各写真については、現地からのメールをそのまま掲載します。言い回しの違いや統一した表現が崩れる可能性があります。現地中心の『生データ』を掲載することを前提にしておりますので、予めご了承ください。

発行日: 2010.07.02

このホームページはスカウト活動に関する事項は、ボーイスカウト日本連盟ホームページ「スカウト活動」に掲載されている内容に基づき、栃木県連盟のホームページに掲載しています。



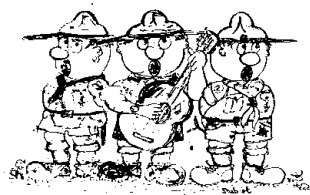
事務局の動き

【平成22年】

7月 3日(日)	理事会 関東ブロック会議
8月 2日(月)～8日(日)	第15回日本ジャンボリー(静岡県朝霧高原)
8月22日(日)	東部地区ボーイスカウト講習会(宇都宮市)
9月 4日(日)	理事会
9月20日(月/祝)	スカウトの日
9月18日(土)～21日(火)	WB研修所VS課程栃木7期(C.C.C)
10月 2日(土)	各種運営委員長会議

今後の予定

7月 3日(日)	理事会 関東ブロック会議
8月 2日(月)～8日(日)	第15回日本ジャンボリー(静岡県朝霧高原)
8月22日(日)	東部地区ボーイスカウト講習会(宇都宮市)
9月 4日(日)	理事会
9月20日(月/祝)	スカウトの日
9月18日(土)～21日(火)	WB研修所VS課程栃木7期(C.C.C)
10月 2日(土)	各種運営委員長会議
10月17日(日)	第41回栃木県カブラリー(栃木市)



第39回のワッペンがいつのまにか変わってしまった。
両側にある手裏剣がなくなったのはわかった・・・
そのほかに7つの変ったところがあるそうだ・・・
わたしのかわりに見つけてくれ!

上が本物



下が変わってしまった偽物

君は・・・見つけられるか?



日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
栃木県宇都宮市桜4丁目2番2号

電話 028(621)9800
Fax 028(621)9800
Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp
info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 宇賀神伴吉 / 編集責任者 組織委員会委員長 東原 勇二 発行部数

2500部